

専門部会報告シート

部会名	相談・くらしの部会	報告回	令和元年度第2回全体会
委員 氏名		氏名	選出母体及び役職等
	1	◎鈴木 卓郎	地域生活支援センタープラザ 施設長
	2	○松林 宏	J P S 訪問介護ステーション 管理者
	3	原 郷史	地域生活支援センターふらっと センター長
	4	犬飼 知子	N P O 法人ポップシップ 代表理事
	5	椛島 剛之	障害当事者
	6	河井 文	府中市肢体不自由児者父母の会 会長
	7	栗山 恵久子	府中市手をつなぐ親の会 会員
	8	野村 忠良	府中市精神障害者を守る家族会 会長
	9	吉井 康之	府中市社会福祉協議会 地域福祉部地域活動推進課長補佐兼 権利擁護課長補佐兼まちづくり推進係長兼府中ボランティアセ ンター長
	10	古寺 久仁子	東京都立多摩療育園 相談主任技術員（統括課長代理）
	11	鹿内 弘実	東京都立府中療育センター 事務次長
	12	山科 美絵	多摩府中保健所 保健対策課地域保健第一担当（課長代理）
※部会長は◎、副部会長は○			
現状	<p>地域生活支援拠点等について、第5期障害福祉計画（平成30年度～32年度）では、平成32年度末（令和2年度末）までに「各市町村又は各障害保健福祉圏域に少なくとも1ヶ所の整備」を基本としているが、府中市では整備が未だ進んでいない。障害者の重度化・高齢化、親亡き後を見据え、地域全体で障害者を支える体制が求められている。平成31年3月の府中市自立支援協議会答申書で相談支援部会からの答申として、基幹相談支援センターの設置について取りまとめた内容も踏まえ、府中市の実情に応じた地域生活支援拠点等の整備に向けた検討を進めて行くことが必要な状況である。</p>		
検討 テーマ (概要)	<p>府中市において、市民の方々が障害の種類や程度にかかわらず、安心して地域での生活を送れるような支援体制を整えるために、地域生活支援拠点等の整備に関して必要な機能を検討する。部会の議論の中では、府中市で地域生活支援拠点等の目的を、「いろいろな障害があっても、地域で一人暮らしができる」ことと整理している。</p>		

<p>取組 経過</p>	<p>【令和元年度の取組】</p> <p>*相談・くらしの部会での地域生活支援拠点等の整備に関する検討 今年度上半期に3回の部会を開催し、府中市で地域生活支援拠点等を整備する目的、方向性について検討した。詳細は後段にて説明。</p> <p>*「これからの府中市の障害者相談支援のありかたを考える懇話会」の開催 令和元年6月26日(木)に、市内12の関連団体・個人を招いて上記懇話会を開催した。懇話会では、平成31年3月の第6期府中市障害者等地域自立支援協議会答申書から、相談支援部会の答申内容を参加者に説明し、参加者から答申の内容や府中市における相談支援のあり方についてご意見をいただいた。懇話会の具体的な内容は、参考1「これからの府中市の障害者相談支援のありかたを考える懇話会 報告書」を参照のこと。</p> <p>*地域生活支援拠点等に関する厚生労働省担当者説明会の開催 令和元年9月4日(水)に、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課地域生活推進室より藤川雄一専門官を招いて、上記説明会を開催した。厚生労働省の行政説明資料を用いて、藤川氏より地域生活支援拠点等の整備を進めたい国の意図や、全国レベルでの実際の整備状況、先駆的な活動をしている自治体の例などが説明された。藤川氏は、府中市において今後検討を進めるうえで、①地域生活支援拠点等の機能について話し合う前に、府中市の地域特性と今府中市で何が必要とされているのかをよく吟味すること、②個別事例をベースとした議論からシステムとして整備することが必要なものを検討すること、という視点を持つことが必要であることを助言された。</p> <p>*八王子市(地域生活支援拠点等整備先行事例)への視察 令和元年9月24日(火)に、八王子市福祉部障害者福祉課及び地域生活支援拠点事業所(2か所)職員より、八王子市の地域生活支援拠点事業の説明をいただき、委員及び事務局から質疑応答をした。八王子市は、国が拠点事業を示す前から抱えていた地域課題を解消するための方策として、「制度の狭間にいる人を救う」ことを目的とし、面的整備で、現行のサービスにない地域生活支援やアウトリーチ支援を行うことで、地域の社会資源のネットワークによる切れ目のない支援を実施していた。</p>
	<p>1 地域生活支援拠点等という国の施策の概要と意図を把握する 部会では、まず検討の前に地域生活支援拠点等という施策について知ることが必要であるとの認識が共有され、下記のことを実施した。</p> <p>(1)事務局より厚生労働省作成の資料を用いて、地域生活支援拠点等についての概要説明を行った。</p> <p>(2)厚生労働省の担当者を招いて説明会を実施した。</p> <p>(3)地域生活支援拠点等をすでに事業化している他自治体である、八王子市の視察を実施した。</p> <p>2 地域生活支援拠点等を整備する目的を明確にする 府中市において地域生活支援拠点等の整備を進めていくのは、何のためなのか、部会の中でその目的を明確に位置づけるための議論を行った。</p>

(1) 今後の部会での議論においては、府中市の地域生活支援拠点等整備は、「いろんな障害があっても、地域で一人暮らしができる」という目的を達成するために行うものであると確認した。

3 地域生活支援拠点等の機能について

国の資料等では、地域生活支援拠点等の機能として次の5つが挙げられている。①相談、②体験の機会・場、③緊急時の受け入れ・対応、④専門性、⑤地域の体制づくり。この中には、平成30年度までに相談支援部会が検討してきた「府中市の基幹相談支援センターに必要な機能」と重なるものが含まれている。基幹相談支援センターの設置も視野に入れながら、地域生活支援拠点等の機能についてどのように検討していくかを議論した。

(1) 地域生活支援拠点等の機能については、②体験の機会・場と③緊急時の受け入れ・対応について検討するところから始めることを確認した。

(2) 体験の機会・場の利用や、緊急時の受け入れ・対応といった機能について、必要としている方に有効な支援を提供するための体制づくりをどのように行うか、部分的に検討した。結論は今後の検討に持ち越されている。

会議開催状況と内容			
		日程	内容
	第1回	5月16日	<ul style="list-style-type: none"> * 事務局より、地域生活支援拠点等の概要について国の資料に基づいて説明が行われた。 * 地域生活支援拠点等の実際をよりよく知るために、外部講師を招いて勉強会をすることと、他自治体への視察を行うことが必要と確認された。 * 懇話会の開催について具体的な日時と当日の報告内容等を確認した。
第2回	7月2日	<ul style="list-style-type: none"> * 6月26日に開催した「これからの府中市の障害者相談支援のありかたを考える懇話会」の振り返りを行った。今後、府中市障害者等地域自立支援協議会として同様の懇話会を定期的に行うことが必要との議論になり、今年度第2回の全体会で議題として提出し、協議することになった。 * 府中市における地域生活支援拠点等の整備の目的を確認した。 * 地域生活支援拠点等の機能のうち、基幹相談支援センターにはない機能である「体験の機会・場」「緊急時の受け入れ・対応」についてどう整備すべきか協議した。 * 地域生活支援拠点等の機能について、今後どのように整理して検討していくかを確認した。 	

	第3回	8月2日	<ul style="list-style-type: none"> *厚生労働省の担当者による説明会について、説明会で聞きたい内容を確認し、事前に担当者に伝えておく内容をまとめることとした。 *八王子市での地域生活支援拠点等の視察について、視察時に具体的に知りたい内容を確認し、事前に先方に伝えておく内容をまとめることとした。 	
	説明会	9月4日	<ul style="list-style-type: none"> *厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課地域生活推進室より藤川雄一専門官を招いて、地域生活支援拠点等に関する説明会を開催した。 *地域生活支援拠点事業における背景や、整備を進める上での留意点などの説明を受け、質疑応答をした。 	
	視察	9月24日	<ul style="list-style-type: none"> *先行事例である八王子市へ、地域生活支援拠点事業の説明を受けるため視察した。 *八王子市及び地域生活支援拠点事業所職員より、事業説明を受けた後、質疑応答をした。 	